

IPhO2023日本大会概要

名称： 国際物理オリンピック2023日本大会（第53回大会）

略称： IPhO2023、IPhO2023Tokyo

大会日程： 2023（令和5）年7月10日（月）～17日（月）

開催場所： 東京都内を予定

主催： 一般社団法人 国際物理オリンピック2023協会

共催： 日本物理学会、応用物理学会、日本物理教育学会、日本生物物理学会、東京理科大学、東京大学、国際基督教大学、東京外国語大学、東京都市大学、科学技術振興機構

後援： 文部科学省（予定）

参加国数： 90ヶ国（予定）

参加人数： 各国代表選手（生徒）450名、各国引率役員 250名、主催国スタッフ 50名、採点要員、学生アルバイト等 200名

競技概要：

(1)代表選手： 参加1ヶ国あたり5名以内。

高校生または中学生（大学入学前、20歳未満）であること。

(2)競技： 理論試験（3問）、実験試験（2問）各5時間に個人競技として取り組む。

試験問題は主催国が準備し、国際役員会議の承認を得て最終決定。

問題文は英語で作成されるが、各国の引率役員が母国語に翻訳する。

代表選手は母国語で回答。

採点は主催者が行った上で引率役員との協議の機会が設けられる。

(3)表彰： 成績上位から、約8%までの者に金メダル、約25%までの者に銀メダル、約50%までの者に銅メダル、また、約67%までの者に入賞が、それぞれ授与される。